

## 2013年度 学校支援ボランティア

### 感謝状贈呈式開催（生涯学習センター） 2/4

今年度で6回目となる感謝状贈呈式が、生涯学習センターホールで行われました。学校支援センターとしての大きなイベントですが、より感謝の意を表すために年々少しずつやり方を変えています。

今年度は、会場が生涯学習センターになったこと、舞台上に大きな看板を設置したことなどが主な変更点でした。今後とも、皆さんからいただいたアンケートを反映して、感謝状を贈呈された方が良い式だったと思えるよう、より充実したイベントにしていきたいと思えます。

また、三校（南中学校、鶴間小学校、小川小学校）のVCにより実践報告も良かったというアンケートをいくつもいただきました。各発表校のボランティアコーディネーターの想いが伝わったものと思えます。

さらに、今回の贈呈式を行うにあたり、校長先生・副校長先生にはお忙しい中ご協力をいただき感謝申し上げます。

最後になりましたが、今回の贈呈式にあたり生涯学習センター所長をはじめ所員の皆様方には大変お世話になりました。ありがとうございました。



#### 《アンケートから》

- ・お一人ずつの活動のお話が伺えてよかったです。さまざまな形のボランティアがあることがわかりました。
- ・功績を述べられたことは大変良かったです。皆様大変活躍されていて感心しました。
- ・いままでの活動が評価されたと思い、大変感謝しています。
- ・感謝状贈呈の際にお一人ずつ紹介されるコメントにより、学校が地域の皆様方に支えられている様子が大変よくわかりました。
- ・贈呈者に対する敬意は、年々厚みある贈呈方法となり、今年も素晴らしいものと思えました。

- ・このような感謝状贈呈式をはじめて知りました。励みとなります。より学校の幅広い活動を知りました。
- ・保護者、地域の方々が自分の地域や学校、子供達のことを愛しているのが伝わってきました。感謝の気持ちを忘れず活動を進めていきたいです。
- ・自校での取り組みの改善に役立つヒントがありました。後日見学させてもらって、さらに情報を得たいと思います。こういう時に、VC 同士の横のつながりも役立つのではないのでしょうか。
- ・各学校の VC の皆様の特色ある活動を拝聴する事が出来、とても参考になりました。今後の活動においても、参考になることがたくさんありました。
- ・とても分かりやすい発表で皆さんの活動が良く分かりました。VC として信念を持ち、活動をされている方ばかりなので、素晴らしいと思いました。
- ・三校ともすばらしい発表で感動しました。大いに啓発されました。今後の活動に活かしたいと強く思いました。
- ・それぞれの学校での特徴が良く解りました。私と同じ内容であったり、同じ悩みであったり、みなさん、苦勞ややりがいと同じ様に経験されているとわかり、うれしく思いました。

\*\*\*\*\*

## 国士舘大学の留学生との交流（総合学習）

藤の台小学校4年生 1/31



住居の模型を使って

藤の台小学校の4年生は、毎年恒例の国士舘大学留学生との交流を行いました。今回、ゲストティーチャーとしてお招きした留学生の国籍は、キルギスタン、中国、ミャンマーです。校長室に招かれた6名の留学生は、教職員やVCにあたたかくもてなされ、緊張がほぐれた様子でした。やがて各クラスの代表がお迎えし、それぞれの教室にエスコートしました。クラスごとに開会式から始まり、その中で、留学生は自己紹介と母国のことを紹介しました。日本留学を希望する大学生だけ

あって、できるだけ日本語で話すように努力していました。また、画像や模型などをたくさん準備していて、自国のことを子供たちにたくさん教えたいという気持ちが伝わってきました。「国際交流・留学生を迎えて（藤の台小4年総合学習の時間）」のねらいは、「外国の文化に直接触れ、日本との違いに気づき、理解しようとする心情を育てる」ことにあります。留学生のお話を聞くことで、日本の言葉や食事や文化などとは大きく異なること



母国の文字について

を知ることになります。子供たちから寄せられる質問を聞いていると、異国への興味・関心がますます高まっていく感じが伝わってきました。

同校では、違いに気づき、理解し、尊重できるようになるために、とてもよい交流プログラムを盛り込んでいました。それは、留学生と一緒に給食を食べる活動と留学生の母国の遊びと一緒に楽しむ活動があることです。こうした活動を取り入れることで、留学生と子供たちとの距離感がぐんと近くなれたと思います。限られた授業時間の中で、どのような活動を重視していくかは、ねらいによっても変わりますが、時間の余裕があればぜひ盛り込みたい活動だと思いました。

国土舘大学の留学生との交流  
問い合わせ先

国土舘大学・国際交流センター  
留学生支援課

195-8550 町田市広袴1-1-1  
Tel 042-736-2317



地図で母国を紹介

## JFAこころのプロジェクト『夢の教室』 鶴川第三小学校5年生 2/6

2月6日に、鶴川第三小学校で5年生を対象にしたJFAこころのプロジェクト『夢の教室』が行われました。担任からの要請で、同校VCがつないだ事例です。

はじめに体育館で体を動かすゲームを行い、与えられた課題をどのように解決していくかを夢先生（星氏）を中心にみんなで話し合い、クラス全員で挑戦していきました。最初はうまくいかなかったことも仲間の意見を聞いたり、行動したりしていくことで、徐々に助け合う気持ちが湧いてきます。達成できた時は、みんな大喜びでした。

実技が終わったあと教室に移動し、自身の子供の頃からの夢であったプロサッカー選手に



なるまでの話、夢を持つきっかけ、辛いことをどう乗り越えたかなど、子供達への質問を交えながら行いました。

最後に夢先生から、どんな職業を目指していく過程にも辛いことはたくさんあるけれど、乗り越えていけるかは自分に夢があるか無いかだと思う。夢は人を強くしてくれる、夢があるから頑張れる、挑戦出来る・・・と語り、『夢の教室』を締めくくりました。



総合学習「糸繰り〜チームシルク」 小山中央小学校 1/20



【事務連絡】

1. 2013年度3月までの「活動月報」提出について

年度末の決算処理を行う関係から、2013年度のVC活動月報を、学校支援センター宛、3月12日（水）必着で提出してください。年度当初にお伝えした通り、3月11日（火）までが謝金の対象になります。

2. ボランティア活動状況調査について

「平成25年度東京都学校支援ボランティア推進協議会事業費補助金」にかかる「ボランティア活動状況調査実績報告書」の回答を学校支援センター宛、3月12日（水）までに提出していただきますようお願いいたします。

3. FC町田ゼルビアホームゲーム時のセンターサークルバナーベアラーを募集中

中学校のVC宛に、「FC町田ゼルビアホームゲーム時のセンターサークルバナーベアラー募集のご案内」をお送りします。この件は、12月10日の中学校VCミーティングで、FC町田ゼルビア担当者より説明されたことですが、あらためて募集のお知らせがありました。所属する中学校にサッカー部があるところは、サッカー部顧問等にお声かけしてみてください。サッカー部がなくても、ほかの部活やクラス単位での参加も可能です。参加人数の単位は30名～40名程度とのことです。当面は、3月のホームゲーム、3/9、(3/16)、3/30に参加ができる学校があるかどうかの確認です。3/16については町田一中から応募があり調整中です。詳細につきましては、中学校VC宛に同封した案内をご覧ください。